

## 映画の新着情報

北マケドニアはこんなところ!  
詳しくは  
mindi 2019年12月号へ




## 『ハニーランド 永遠の谷』

北マケドニアの首都スコピエから20キロほど離れた、電気も水道もない土地。ヨーロッパ最後の自然養蜂家である主人公の女性は、寝たきりで盲目の老母と暮らしている。収穫できたハチミツは「半分は自分に、半分は蜂に」を信念に、自然と伝統を守り、慎ましい生活を送っていた。しかし彼女の平和な生活は、突然トレーラーでやって来た隣家の大家族によって激変する。近代社会を離れて自分のライフスタイルを貫く一人の女性を、3年をかけ400時間以上にわたって撮影したドキュメンタリー。自然との調和、破壊と再生の感動的な物語は、今年のアカデミー賞においてドキュメンタリー部門と国際映画部門に同時ノミネートというアカデミー史上初の快挙を遂げた。各国の映画祭でも30以上の賞を受賞している。

●『ハニーランド 永遠の谷』  
2019年/北マケドニア/86分  
配給: オンリー・ハーツ  
監督: リューボ・ステファノフ、  
タマラ・コテフスカ  
近日公開。

公式サイトは  
こちらから




©2019, Trice Films & Apollo Media




## 『グランド・ジャーニー』



●『グランド・ジャーニー』  
2019年/フランス、ノルウェー/113分  
配給: クロックワークス  
監督: ニコラ・ヴァニエ  
近日公開。

公式サイトは  
こちらから




©2019 SND, tous droits réservés.

フランスで“バードマン”の異名を持つ気象学者のクリスチャン・ムレクさんは、その生涯を絶滅の危機にある鳥たちの保護に捧げている。本作は、彼が息子とともにノルウェーからフランスまで超軽量飛行機を使って飛び、渡り鳥たちに安全な飛行ルートを教えたという驚きの実話に基づく物語。湿地に囲まれ、インターネットも利用できないフランスの田舎を舞台に、人間と動物の種別を超えた絆が描かれる。フランスでは環境問題に熱心な国民に受け入れられ、2019年に国内映画興行収入トップ10入りを記録した。日本国内でも、自然保護活動に対するメッセージに共感したWWFジャパンや日本自然保護協会、日本国際湿地保全連合など、環境保全団体の後援が決定している。


## 『日本人の忘れもの フィリピンと中国の残留邦人』

太平洋戦争以前、フィリピンには3万人におよぶ日本人の移民社会が存在した。戦後75年を過ぎた現在でも、日本人の親と生き別れて無国籍状態に置かれた残留日本人2世たちがいる。また、かつての満州国があった中国東北部でも、敗戦時に子どもたちが置き去りにされた。戦後日本に帰国した彼らは、言葉の壁による差別や貧困に苦しむ。本作は、そんなフィリピンと中国の残留者たちにスポットを当て、彼らの現状と、彼らを救おうとする市民たちの活躍を描いたドキュメンタリー。「わたしのお父さんは日本人だから、わたしも日本人です」——そんな思いを抱く人々へのインタビューを通して、現代の日本における課題を浮き彫りにする。



●『日本人の忘れもの フィリピンと中国の残留邦人』  
2020年/日本/98分  
配給: Kプロジェクト  
監督: 小原浩靖  
7月25日(土)よりポレポレ東中野ほか  
全国で順次公開。

公式サイトは  
こちらから




©2020Kプロジェクト

\*新型コロナウイルスの影響により、映画の公開延期等の可能性があります。事前に公式サイトなどをご確認ください。

## 本の新着情報

### 『ようこそ南アジア世界へ』

今号の特集テーマである南アジア。貧困や停滞のイメージは過去のものとなり、発展や新興国といった新たなキーワードとともに語られるようになった。本書は地理や歴史、宗教、政治、ジェンダーなど11章により構成。各分野の専門家による執筆で、最新の情報を知ることができる。国際的にも存在感を増している南アジアの入門書。

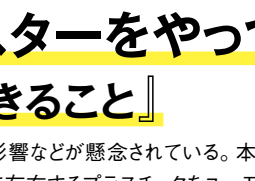
●『ようこそ南アジア世界へ』  
石坂晋哉、宇根義己、船橋健太 編/  
昭和堂 2,400円(税別)



読者  
プレゼント  
詳細は  
p.38へ

### 『プラスチックモンスターをやっつけよう! きみが地球のためにできること』

レジ袋やペットボトル、食品トレイ、日用品に文房具……私たちの暮らしにあふれるプラスチック製品。便利な一方で、プラスチックごみが細かく砕けたマイクロプラスチックによる健康被害や、製造の過程などで排出される温室効果ガスによる気候への悪影響などが懸念されている。本書は、身近に存在するプラスチックをユーモラスなイラストとともに紹介する。写真によって汚染の実態を伝えるとともに減らすためのアイデアを盛り込む。夏休みの自由研究などにも活用できる実践例も多数。



読者  
プレゼント  
詳細は  
p.38へ

●『プラスチックモンスターをやっつけよう! きみが地球のためにできること』  
高田秀重 監修、クリハラタカシ 絵/  
クレヨンハウス 1,600円(税別)

p.39 日本の取り組みにも注目!

## SPECIAL GAMES

### おうちで楽しく学ぼう! 学習支援コンテンツの紹介

#### ゲームで体験! もうかる農業

JICAがアフリカの小規模農家支援として進めている市場志向型農業振興プロジェクト「SHEP」は、“作って売る”から“売るために作る”への意識変革を起し、農家の所得向上を目指すもの。この取り組みをゲーム化した「Fun Fun Farming!」では、アフリカの農家が実践している市場志向型の農業をゲームで体験できる。



●Fun Fun Farming!  
無料ダウンロードは  
こちらから

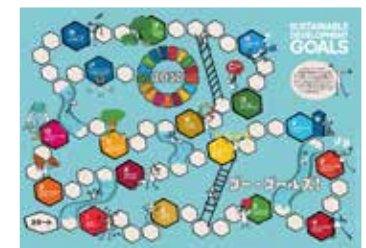


PC・スマートフォン対応  
(iOS / Android)

#### すぐろくでSDGsを学ぼう



ブリュッセルの国連地域広報センター(UNRIC)がElyxの創作者ヤシン・アイトウ・カシ(YAK)の協力を得て製作したSDGsすぐろく「ゴー・ゴールズ」。SDGsの17の目標に関するクイズに挑戦しながらゴールを目指す。コマやサイコロの手作りキットも無料でダウンロードでき、すぐに遊ぶことができる。英語、フランス語、中国語、アラビア語など20か国語のバージョンをそろえる。



●ゴー・ゴールズ!すぐろくでSDGsを学ぼう  
無料ダウンロードは  
こちらから

